



北海道大学大学院文学研究科
応用倫理研究教育センター 主催



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

公開シンポジウム

安心して

2014年
1月11日(土)
13:30~16:30
(開場12:45)

ケアする・される

私たち誰もが
体験する老いと
介護を考える

社会とは

ところ

基調
講演



上野千鶴子

立命館大学特別招聘教授
東京大学名誉教授

講演



笹谷春美

北海道教育大学名誉教授
北海道立女性プラザ館長

講演



松本勝明

前 北海道大学公共政策
大学院教授・公共政策学
研究センター長

北海道大学
学術交流会館講堂

北区北8条西5丁目
(北大正門入って左奥)

要

事前申込み

締切 2013年
12月20日(金)

定員

300名
参加無料

どなたでも参加
いただけます。

だれもが安心して老いることのできる社会、安心
して介護することを選べる社会は、どう設計すべ
ばよいのでしょうか。わが国の現状と北海道の特殊
性を踏まえながら、3名の先生方とともに考えます。

後援：北海道・札幌市・北海道新聞社

お申し込みは裏面をご覧ください ▶

公開シンポジウム

北海道大学大学院文学研究科応用倫理研究教育センター 主催

安心してケアする・ される社会とは

私たち誰もが
体験する老いと
介護を考える

「在宅ひとり死」は可能か？



立命館大学特別招聘教授
東京大学名誉教授

上野千鶴子 Chizuko Ueno

基調講演

「在宅ひとり死」は孤独死ではない。しかし、在宅死のなかでも独居のみよりのハードルは高い。それを可能にするための条件を、現場の調査にもとづいて明らかにする。

地域で支える高齢者ケア

—北海道的特色とは—



北海道教育大学名誉教授
北海道立女性プラザ館長

笹谷春美 Harumi Sasatani

講演

北海道は少子・高齢社会の先進地域である。その理由は何か。それは地域の高齢者ケアにどんな影響を及ぼしているのか。これまでの調査研究を通して、北海道に固有な高齢者ケアの事情を探る。

家族介護を考える

—国際比較の視点から—



前 北海道大学公共政策大学院教授・公共政策学研究センター長

松本勝明 Katsuaki Matsumoto

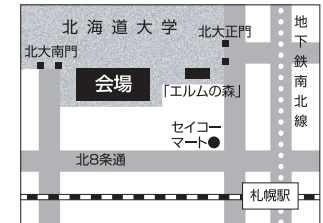
講演

ドイツ等に比べ、業者による介護サービスの提供に重点が置かれ、家族による介護への支援が手薄と指摘される日本の介護保険制度。家族がする、家族にされる介護を安心して選べる仕組みづくりには、何が必要なのかを考える。

とき 2014年
1月11日(土)
13:30~16:30
(開場12:45)

ところ 北海道大学
学術交流会館講堂

札幌市北区北8条西5丁目
(駐車場はありません。公共交通
機関をご利用ください。)



開会挨拶 13:30

北海道大学理事・副学長 新田孝彦

講演 13:40~15:10

基調講演 上野千鶴子

講演 笹谷春美

講演 松本勝明

討論会 15:25~16:25

講師3名・会場との質疑応答

閉会挨拶 16:25

北海道大学大学院文学研究科長

卯 和順



討論司会 妙木 忍
北海道大学大学院
文学研究科
応用倫理研究教育センター
助教

お申込み お問合せ 〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
北海道大学大学院文学研究科応用倫理研究教育センター
E-mail: gender@let.hokudai.ac.jp(担当:西川)

応募者の氏名、フリガナ、連絡先(メールアドレス、電話番号)を記載の上、E-mailまたは往復はがき(返信先住所明記)にてお申し込みください。

※応募多数の場合は先着順となりますのでご了承ください。
※定員に達し次第、当センターのホームページ上でお知らせいたします。http://ethics.let.hokudai.ac.jp/
※携帯メールをご利用の際は「@let.hokudai.ac.jp」からのメールが届くよう受信設定をしてください。

※応募に際してお送りいただいた個人情報、本企画の連絡のみに使用いたします。